

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『経カテーテル的部分的脾動脈塞栓術が門脈血流動態に与える影響の研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器センター内科 職位・氏名 院内講師・松井哲平

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科では、肝硬変に合併する脾機能亢進症に伴う血球減少を有する患者様に経カテーテル的部分的脾動脈塞栓術(PSE)を施行しております。PSEは血球減少の改善効果だけでなく門脈圧を緩衝させる(圧力が高い状態を緩和する)効果もあり有用な手法とされています。PSEによる門脈血流の変化については現在十分には解明されていないため、本研究ではその変化を明らかにすることを目的とします。この研究で得られる成果は、PSEの有用性を様々な面で確立することにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。
(承認番号 M22045)

対象者:2010年4月～2022年3月までに東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科において、経カテーテル的部分的脾動脈塞栓術(PSE)を受けた肝硬変患者様の診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

診療録から得た血液検査結果、腹部超音波結果を用います。また、治療当日同時に行われた肝静脈圧測定結果より治療前後の推定門脈圧の変化を調査します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科

研究代表医師:消化器センター内科 松井哲平 役職:院内講師

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器センター内科

職位・氏名 院内講師・松井哲平

電話 03-3762-4151 内線 77205